

改憲議論をせよ

安倍首相の改憲論は内容手続ともに重大な問題があります。

自衛隊の明記ですが、これは全くの欺瞞です。専守防衛の自衛隊であるといっています。人々がそういうイメージを抱いていることをいいことにそのような自衛隊をただ書くだけだといっています。

しかし、今日の自衛隊は集団的自衛権の行使をすでに認められ、海外とわりわけアメリカとともに軍事行動をする十分な軍隊としての実体をもっています。決して災害救助の自衛隊ではありません。これを9条に書き込むことは9条2項は実際上死文化してしまっています。手続も大問題です。

首相が憲法改正の手続きにかかわることは憲法99条と96条に違反します。首相として自衛隊明記を提起しました。そして、自衛隊の幹部にその訓示をしました。

さらに、今度の臨時国会の所信表明演説に議場の演壇から、議員に対して改憲を鼓舞しました。安倍首相は自ら「私は立法院の長」と言っていますが、単なる言い間違いではない、三権分立を破壊する文字通り国会の上になたつ姿を示しています。

私に言わせれば手続きを経ずに権力を取る、クーデターだと思います。

やはり、憲法を守る3,000万署名に主力を尽くして改憲の発議をさせない動きをつくる、これが今のポイントです。沖縄からくみ取ることはたくさんあると思います。

安倍改憲の阻止は、憲法が活かされる政治への展望を開きます。日本歴史は一歩前進を遂げることになるでしょう。

(2018年11月18日)

自衛隊小牧基地強化反対

県民本意の県営名古屋空港を求める会

11/17総会開催

自衛隊機飛行調査報告

10/16飛行調査 この日はC130輸送機やKC130空中給油機のタッチ&ゴーが多く、C130は11回、KC130は19回行われました。

また、F-2、F-15、T-4などの戦闘機の離着陸もありました。戦闘機の爆音はものすごく、滑走路脇の豊山町内でもうるさいと感じるほどです。

小牧基地の輸送機は県営名古屋空港で何度もタッチ&ゴーの訓練を繰り返していますが、同じ輸送機が岐阜基地でも訓練を行っています。その訓練は同じタッチ&ゴーの訓練

11月17日、春日井市のささえ愛センターで第13回空港の会総会が行われました。総会には約20名の参加で活発な議論や学びがあり、大成功に終わりました。

第一部では、各務原市平和委員会の鷺見真一さんによる記念講演が行われました。「岐阜基地の現状 運動とこれから」というテーマで講演され、岐阜基地と私たちが調査活動をしている小牧基地との密接な関係についてご教授いただきました。

小牧基地の輸送機は県営名古屋空港で何度もタッチ&ゴーの訓練を繰り返していますが、同じ輸送機が岐阜基地でも訓練を行っています。その訓練は同じタッチ&ゴーの訓練

でも不整地と呼ばれる、舗装されていない場所での訓練をしているとのこと。小牧基地の輸送機はオイル漏れのトラブルや部置落下が相次いでいます。こうした訓練が背景にあるのではないのでしょうか。

第二部では、約一年半の活動を振り返り、様々な立場から県営名古屋空港の現状や、平利用をめざすにはどうすればいいのか、活発な議論が行われました。空港の会の今後の課題、取り組みとして、①会員拡大と世話人の充実、②自衛隊飛行機調査の参加者を増やす③空港調査を軸に据えつつ、新たな取り組みの検討(アンケート、騒音調査、学習会など)を確認しました。

今回の自衛隊機飛行調査は12月18日(8時~10時・エアポートウォーク名古屋駐車場 10時~17時・エアポートウォーク5階です。(求める会ニュースNO35より)

次回、今度の臨時国会の所信表明演説に議場の演壇から、議員に対して改憲を鼓舞しました。安倍首相は自ら「私は立法院の長」と言っていますが、単なる言い間違いではない、三権分立を破壊する文字通り国会の上になたつ姿を示しています。

私に言わせれば手続きを経ずに権力を取る、クーデターだと思います。

やはり、憲法を守る3,000万署名に主力を尽くして改憲の発議をさせない動きをつくる、これが今のポイントです。沖縄からくみ取ることはたくさんあると思います。

安倍改憲の阻止は、憲法が活かされる政治への展望を開きます。日本歴史は一歩前進を遂げることになるでしょう。

(2018年11月18日)

青年ネットAICHI企画

上井さんについてみよう！主権者としての私たち



12月8日、青年ネットAICHIは元八王子中学校の校長・上井靖さんを招いて交流企画を開催しました。

冒頭、上井さんは自己紹介をかねて挨拶をされ、八王子中学校を定年退職されたことや、現在は起業シニアシニアレーションを通じた活

動なされていることが話されました。

その後は、参加者を3つのグループにわけて3つのトランプゲームをしました。一見すると普通のトランプゲームですが、いろいろな条件が課せられていて、それをチームでクリアしていくという内容。終了後ゲームをやつてみての「気づき」や感想交流をする中で、現代の政治や教育にもつながる「同調圧力」の怖さ、「正解」のみを追い求める教育の在り方などにつながる参加者一同学びを深めることができました。

最後に、前川喜平さんを招いた講演会での政治介入

問題にも触れ、「敵と思えるもの」と対話する。「その背景を考えて相手の言う事を受け止める」というメッセージをいただきました。

参加者は、友人に紹介されて初めて青年ネットの企画に来た方や、親子で参加された方など含め16名。

【参加者の感想】

○思い込みをはっきり自覚した。実際の社会に置き換えてみると、少数の主張を無視・黙殺してしまうことを自分も(消極的ではあっても)平気ですやっていると気づいた。少数者が声をあげることはエゴでなく問題を気づかせてくれる大切なことだと改めて思った。

○「ファシリテーションとは何？」と思つて



青年ネット企画 3つグループに分かれて交流

参加者がリラックスして、自分の意見をいい、他人の意見に耳を傾け、「論破」や「説得」ではなく、一定の方向へむかって意見がまとまっていくなければ、普賢やれているよつでやれない。

○参加したみんなが充実感を得られる企画だった。第2弾がやりたい。

○ワークショップを楽しむだけでなく、感想から気づきがたくさんあり、むしろ感想交流が大事なんだと改めて思った。

辺野古土砂投入強行に抗議・支援を

県民投票支援 全国革新懇 呼びかけ



全国革新懇呼びかけ

沖縄県民投票が2月24日(日)投票でおこなわれます(告示14日)。

この県民投票は、辺野古新基地建設のための埋め立ての賛否を——この一点で問い、圧倒的な基地建設NOの民意を突きつけるたたかいです。県知事選でも明確に「辺野古NO」の審判が重ねて下されたにもかかわらず、民意をふみにじり、土砂投入を強行する安倍政権に痛撃を与える重要なたたかいです。

沖縄県が政府と争う裁判闘争にも大きな影響を与え、同時に、全国の沖縄連帯・支援行動、地位協定抜本改定など米軍横暴反対の取り組み、参院選も視野に発展する「市民と野党の共闘」の流れとも大きく合流し、辺野古新基地建設阻止と安倍政権打倒に新たな展望を切り開くことにつながるものです。

沖縄革新懇も、県民投票のたたかいは母体になる「新基地建設反対県民投票連絡会」に参加。「沖縄のたたかいは日本のたたかい」

「沖縄のたたかいは安倍廃棄、基地撤去をかかげる革新懇の存在意義をかけたたたかい」——全国各地から連帯・支援を強めましょう。

(1) 全国各地で沖縄連帯のつどい、学習会、宣伝行動を、賛同団体、市民団体などとも積極的に共同を

(2) 沖縄に支援カンパを、県民投票は公選法の制約を受けませんが、大量の宣伝等、多くの運動資金が必要です。

(3) 全国から沖縄に現地支援を送り出しましょう。

○沖縄革新懇は2月1日~24日まで宣伝カー1台を運行。本土各地の革新懇の協力が不可欠。運転手、アナウンサー、弁士に積極的に！

○2月16日(土) 革新懇デー。宣伝行動、連帯つどい予定

☆支援カンパ

郵便振替口座01710-9127910

名義 沖縄革新懇